

# 東京の労働力

平成20年7～9月期平均結果 -

「労働力調査」(総務省所管)の東京都分について、平成20年7～9月期平均の集計結果を公表します。結果の概要は、次のとおりです。

## 東京都の完全失業率 3.9%

- ・ 対前年同期比0.5ポイントの大幅上昇
- ・ 就業者数は、男性は増加、女性は大幅減少

### 主な特徴 (表1、統計表第2表、統計表参考)

#### (労働力人口)

労働力人口は718万7千人で、前年同期に比べ9千人(0.1%)減少した。  
男性は3万1千人(0.7%)増加し、女性は4万1千人(1.4%)減少した。

#### (就業者数)

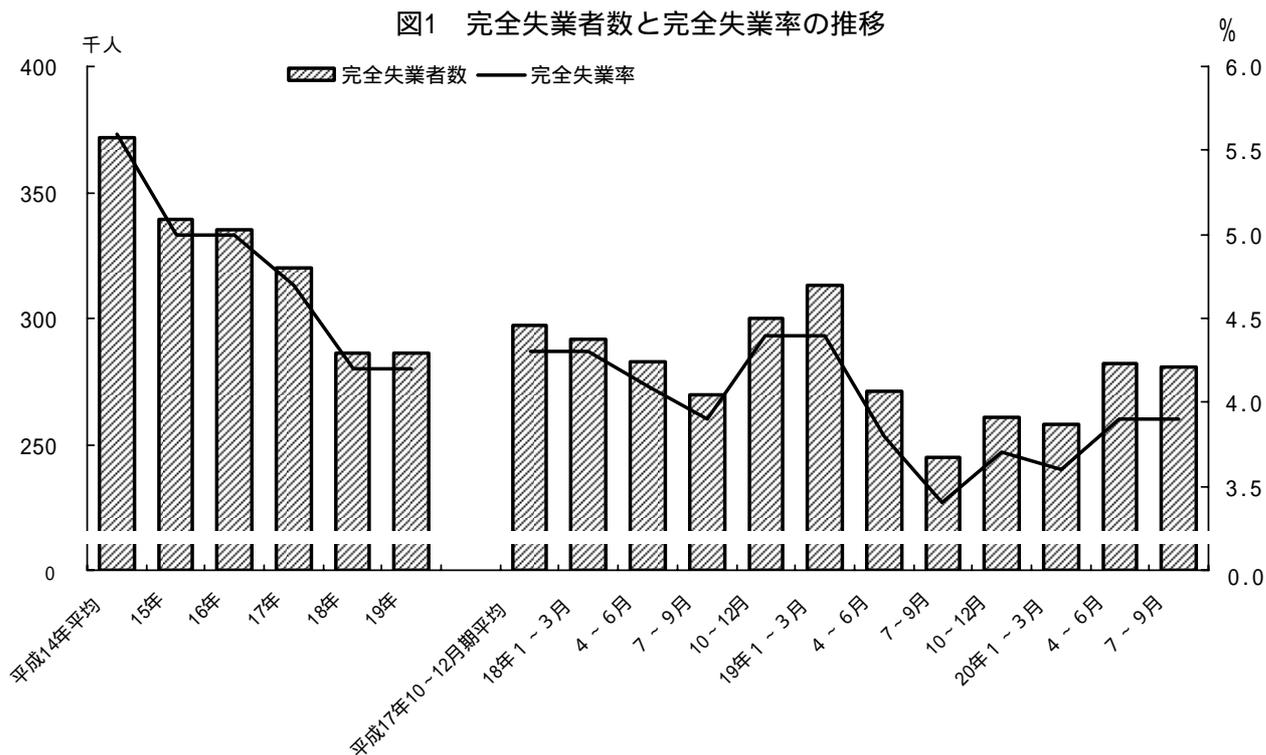
就業者数は690万5千人で、前年同期に比べ4万6千人(0.7%)減少した。  
男性は2万7千人(0.7%)増加し、女性は7万3千人(2.6%)大幅に減少した。

#### (完全失業者数)

完全失業者数は28万1千人で、前年同期に比べ3万6千人(14.7%)増加した。  
男性は4千人(2.5%)、女性は3万2千人(36.4%)それぞれ増加した。

#### (完全失業率)

完全失業率は3.9%で、前年同期に比べ0.5ポイントの上昇となった。  
過去5年間において、平成16年1～3月期平均の0.6ポイントに次ぐ大幅な上昇となった。  
男性は3.8%、女性は4.1%で、前年同期に比べ男性は0.1ポイント、女性は1.1ポイントそれぞれ上昇した。



## 1 労働力人口

労働力人口は718万7千人となり、前年同期と比べ9千人(0.1%)減少した。

男女別にみると、男性は428万8千人、女性は289万8千人となり、前年同期に比べ、男性は3万1千人(0.7%)増加し、女性は4万1千人(1.4%)減少した。

(表1、統計表第2表<P8、P9>)

表1 就業状態別、男女別15歳以上人口

(単位：千人、ポイント、%)

就業状態等	男女計	男	女	対前年同期					
				増減数			増減率		
				男女計	男	女	男女計	男	女
15歳以上人口	11 352	5 630	5 772	57	27	30	0.5	0.5	0.5
労働力人口	7 187	4 288	2 898	- 9	31	- 41	-0.1	0.7	-1.4
就業者数	6 905	4 127	2 778	- 46	27	- 73	-0.7	0.7	-2.6
完全失業者数	281	161	120	36	4	32	14.7	2.5	36.4
非労働力人口	4 160	1 338	2 821	73	- 1	74	1.8	-0.1	2.7
完全失業率	3.9	3.8	4.1	0.5	0.1	1.1			

\* 15歳以上人口には、分類不能・不詳を含むため内訳の合計とは必ずしも一致しない。

## 2 就業者

### (1) 就業者数の推移

就業者数は690万5千人で前年同期に比べ4万6千人(0.7%)減少した。

男女別にみると、男性は412万7千人、女性は277万8千人となり、前年同期に比べ男性は2万7千人(0.7%)増加し、女性は7万3千人(2.6%)減少した。

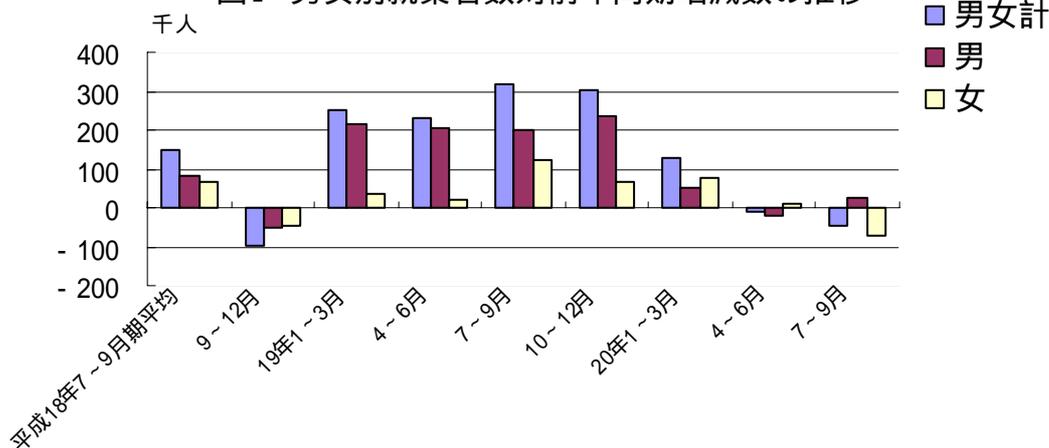
(表1、表2、図2、統計表第2表<P8、P9>)

表2 男女別就業者数の推移

(単位：千人)

就業者数		18年		19年				20年		
		7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
実数	男女計	6 633	6 463	6 723	6 889	6 951	6 767	6 851	6 878	6 905
	男	3 902	3 836	4 054	4 144	4 100	4 074	4 107	4 121	4 127
	女	2 730	2 627	2 669	2 745	2 851	2 693	2 744	2 757	2 778
対前年同期増減数	男女計	150	- 97	250	229	318	304	128	- 11	- 46
	男	83	- 50	215	206	198	238	53	- 23	27
	女	67	- 47	35	23	121	66	75	12	- 73

図2 男女別就業者数対前年同期増減数の推移



### (2) 雇用者数の推移

雇用者数は616万5千人となり、前年同期に比べ2万人(0.3%)減少した。

男女別にみると、男性は367万8千人、女性は248万7千人となり、前年同期に比べ、男性は3万8千人(1.0%)増加し、女性は5万8千人(2.3%)減少した。

(表3、統計表第3表<P10、P11>)

表3 男女別雇用者数の推移

(単位：千人)

雇用者数		18年		19年				20年		
		7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
実数	男女計	5 845	5 627	5 973	6 090	6 185	6 018	6 113	6 173	6 165
	男	3 416	3 305	3 580	3 646	3 640	3 598	3 650	3 651	3 678
	女	2 429	2 322	2 393	2 445	2 545	2 420	2 463	2 522	2 487
対前年同期増減数	男女計	202	- 125	251	159	340	391	140	83	- 20
	男	117	- 74	217	158	224	293	70	5	38
	女	85	- 51	33	1	116	98	70	77	- 58

### (3) 非農林業雇用者数

非農林業雇用者数全体では615万7千人となり、前年同期に比べ1万7千人(0.3%)減少した。従業者規模別で見ると「1～29人」は、前年同期に比べ15万4千人(7.5%)、「30～499人」は2万4千人(1.2%)それぞれ減少し、「500人以上」は16万人(9.5%)増加した。

(表4、統計表第6表<P14>)

表4 従業者規模別非農林業雇用者数 (単位：千人、%)

規 模	非農林業雇用者数			対 前 年 同 期					
	男女計	男	女	増減数			増減率		
				男女計	男	女	男女計	男	女
*総 数	6 157	3 673	2 484	- 17	41	- 58	-0.3	1.1	-2.3
1～29人	1 897	1 108	790	- 154	- 79	- 75	-7.5	-6.7	-8.7
30～499人	1 950	1 133	818	- 24	8	- 31	-1.2	0.7	-3.7
500人以上	1 840	1 177	663	160	112	48	9.5	10.5	7.8

\* 総数には、官公・従業者規模不詳を含む。

### (4) 主な産業別就業者数及び雇用者数

就業者数をみると卸売・小売業、飲食店、宿泊業、サービス業（他に分類されないもの）は前年同期に比べ減少し、その他の産業は増加した。雇用者数も就業者数と同様、前年同期に比べ卸売・小売業、飲食店、宿泊業、サービス業（他に分類されないもの）は減少し、その他の産業は増加した。

(表5、統計表第4・5表<P12、P13>)

表5 主な産業別就業者数及び雇用者数 (単位：千人、%)

産 業	就 業 者 数			雇 用 者 数		
	実 数	対前年同 期増減数	対前年同 期比	実 数	対前年同 期増減数	対前年同 期比
建 設 業	483	12	2.5	419	14	3.5
製 造 業	834	15	1.8	787	36	4.8
情 報 通 信 業	554	16	3.0	526	14	2.7
運 輸 業	318	6	1.9	286	4	1.4
卸 売・小 売 業	1 204	- 107	-8.2	1 092	- 132	-10.8
金 融・保 険 業	286	17	6.3	284	17	6.4
不 動 産 業	180	0	0.0	162	15	10.2
飲食店、宿泊業	440	- 60	-12.0	361	- 27	-7.0
医 療、福 祉	580	52	9.8	540	50	10.2
教育、学習支援	323	12	3.9	280	1	0.4
サービス業(他に分類されないもの)	1 330	- 29	-2.1	1 106	- 27	-2.4

## 3 完全失業者

### (1) 完全失業者数の推移

完全失業者数は28万1千人で、前年同期に比べ3万6千人(14.7%)増加した。

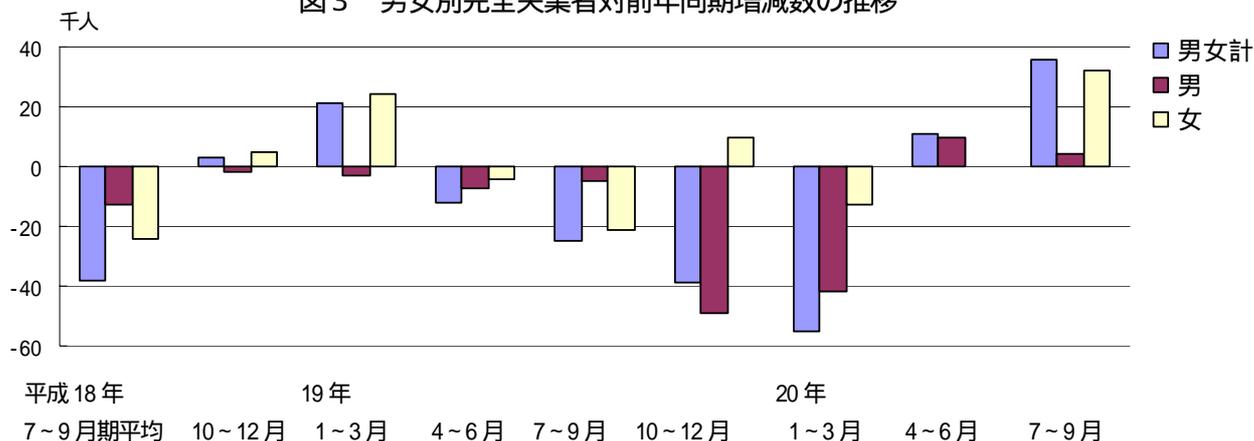
男女別にみると、男性は前年同期に比べ4千人(2.5%)、女性は3万2千人(36.4%)それぞれ増加した。

(表1、表6、統計表第2表 P8、P9、図1、図3)

表6 男女別完全失業者数の推移 (単位：千人)

完全失業者数		18年		19年				20年		
		7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
実 数	男女計	270	300	313	271	245	261	258	282	281
	男	162	181	194	153	157	132	152	163	161
	女	109	119	119	119	88	129	106	119	120
対前年 同 期 増減数	男女計	-38	3	21	-12	-25	-39	-55	11	36
	男	-13	-2	-3	-7	-5	-49	-42	10	4
	女	-24	5	24	-4	-21	10	-13	0	32

図3 男女別完全失業者対前年同期増減数の推移



(2) 完全失業率

完全失業率は3.9%となり、前年同期に比べ0.5ポイント上昇した。平成16年1~3月期平均の0.6ポイントに次ぐ大幅な上昇となった。男女別にみると、男性は3.8%、女性は4.1%となり、前年同期に比べ男性は0.1ポイント、女性は1.1ポイントそれぞれ上昇した。(表7、図1、統計表第2表<P8>)

表7 年齢階級別、男女別完全失業率

(単位: % ポイント)

区分		総数	15~24歳	25~34歳	35~44歳	45~54歳	55~64歳	65歳以上
完全失業率	男女計	3.9	7.0	5.3	2.9	2.7	3.3	3.5
	男	3.8	7.3	5.0	2.5	2.9	3.3	3.5
	女	4.1	6.6	5.7	3.6	2.4	3.3	3.3
対前年 同期 増減	男女計	0.5	0.4	1.1	-0.4	0.4	0.6	1.3
	男	0.1	2.8	0.2	-1.2	0.1	0.1	0.7
	女	1.1	-2.2	2.4	0.9	0.9	1.4	2.0

(3) 完全失業率の全国、南関東との比較

東京都の完全失業率(3.9%)は前年同期に比べ0.5ポイント上昇したが、全国水準に比べ0.1ポイント下回った。

全国の完全失業率は4.0%となり、前年同期に比べ0.3ポイント上昇した。南関東(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)は3.7%となり、前年同期に比べ0.3ポイント上昇した。

(統計表参考<P15>、図4)

図4 東京都と全国、南関東の完全失業率の推移

